



一般社団法人

千葉県

作業療法士会

ニ ュ ー ス



2026
Happy New Year



Topics

- ・ 年始のご挨拶
- ・ 令和7年度千葉県文化の日功労者表彰について
- ・ 令和7年度千葉県作業療法士学会のご案内
- ・ 各部局からのお知らせ
- ・ 各部局からの活動報告

巻頭言

新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は会員の皆さま、関係各位より

千葉県作業療法士会（以下、県士会）の活動に対し
ご理解とご尽力に心より感謝申し上げます。



千葉県作業療法士会
会長 松尾真輔

■ 作業療法の認知向上に向けて

会長就任から早1年半、行政や各団体との連携を意識しながら活動してきました。「作業療法士」の存在が少しずつ認知されつつあるものの、「作業療法」そのものの理解はまだ十分とは言えません。

県士会としても、作業療法の価値を広く知っていただくための取り組みが不可欠です。私自身も、必要に応じて積極的に様々な場に顔を出し、情報発信に努めてまいります。

会員の皆さまや関係各位におかれましても、何かございましたらお気軽にお声がけください。適材適所で「作業療法士」が「作業療法」を提案・提供できるよう、全力で対応いたします。

■ 「ちばPOS」から「千葉県リハビリテーション専門職協会」への転換

昨年4月に、これまでPT、OT、STの専門職能団体として活動してきた千葉県理学療法士作業療法士言語聴覚士連携推進会議（通称：ちばPOS）は、名称を「千葉県リハビリテーション専門職協会」へ変更しました。「リハビリテーション専門職」である三士会合同の組織として協働し、より専門性を高め、連携を強化することを目的とし、役員会議を経て名称変更に至っています。

今後も引き続き、県内における地域社会に貢献する職能団体として更なる発展を目指してまいります。

■ 今年の抱負

最後に、今年も「作業で暮らしに彩りを」の理念のもと、千葉県民の暮らしを支える専門職として、実践と連携、教育と発信に取り組む1年といたします。会員の皆さまとともに歩み、地域福祉・医療・行政と手を携えながら、新しい地域共生社会の実現を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年度 文化の日千葉県功労者表彰

当士会から、池澤直行さん、坂田祥子さんが受賞されました



表彰概要

令和7年11月13日（月・祝）に「文化の日千葉県功労者表彰」表彰式が行われ、健康福祉功労として当士会から池澤直行さん、坂田祥子さんの2名が受賞されました。本表彰は昭和23年の文化の日制定を機に始まり、今回で78回目となります。千葉県の発展に多大な貢献をされた功績が称えられました。以下に、受賞されたお二人のコメントを掲載します。この度は、誠にありがとうございました！

受賞者コメント：池澤直行さん

千葉県作業療法士会の皆様へこのたびは、千葉県功労者表彰にご推薦を賜り、誠にありがとうございました。今回はとりわけ、坂田さんと私とのダブル表彰という素晴らしい成果となり、感謝の念に堪えません。

私は県士会の皆様に支えていただきながら、理事・役員として会の発展のために微力を尽くしてまいりました。

私自身が、千葉県作業療法士会に所属して本当に良かったと思うことは、なんといっても「人とのつながり」であります。先輩や仲間とのつながりを通して、さまざまなご縁やきっかけに恵まれて活動の幅を広げることができ、結果的にこのような表彰もいただけたのではないかと受けとめております。

その意味では、今回の表彰は

県士会の皆様への表彰でもあります。このことが千葉県における作業療法士会の存在感を高め、会員の皆様の励みになれば、これにまさる喜びはありません。このたびは、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

受賞者コメント：坂田祥子さん（東京湾岸リハビリテーション病院）

このたび、令和7年「文化の日千葉県功労者表彰」健康福祉功労を受賞致しました。これは、私の千葉県作業療法士会（以下、県士会）における活動が、千葉県内の医療・福祉の推進に貢献するものだったと健康福祉部医療整備課より推薦いただき表彰されたものです。

私は平成19年に東京湾岸リハビリテーション病院に入職し県士会に入会しました。その翌年から県士会の役員となり、理

事、副会長、会長、監事として県士会の運営に携わってきました。様々な活動に参加しましたが、現在の千葉県リハビリテーション専門職協会に繋がるリハビリ公開講座の開催、千葉県理学療法士会・作業療法会・言語聴覚士会連携推進会議の事業、そして千葉JRATに繋がる災害対策委員会など、他の団体の皆さんと活動するものに多く参加させていただきました。千葉県の保健・医療・福祉等々が様々

な機関・団体が連携・協力して成り立っていることを直に学ばせていただき、作業療法士（会）として「できること、なすべきこと」を考え行動する機会となりました。つまり、県士会活動は私の作業療法士としての成長の機会であり、このことに感謝しかありません。

県士会の皆さんとの繋がりに感謝いたします。本当にありがとうございました。

#千葉OT学会 #作業療法の種をまこう

第27回

千葉県作業療法士学会

作業療法の種をまく ～日々の実践がつなぐ未来～



@2122cot2020



@CHIBAKEN_OT_GAKAI2025

2026年3月8日(日)

会場：八千代リハビリテーション学院

第27回千葉県作業療法士学会のご案内

教育講演

「今こそ、子どもの地域支援 作業療法×地域＝？」

講師：嘉門邦岳(株式会社アクト・デザイン／こども発達支援ルームまあち)

障害の有無にかかわらず、子どもが地域で“当たり前”に暮らし、遊び、学び、仲間とつながるために、作業療法士が保育・教育・福祉・家庭をどう結び、生活全体と活動・参加を支えていけるのかを、多様な実践を通して考える講演です。



シンポジウム

「精神科分野における分野ごとの作業療法士の役割について」

司会：鎗田英樹（帝京平成大学）
シンポジスト：桑田良子（小金基幹相談支援センターおんぷ）
永作佳奈英（総合病院国保旭中央病院）
川越大輔（国立国府台医療センター）



病院・デイケア・基幹相談支援センターで働くOTが、それぞれの現場での支援内容や多職種連携の工夫を紹介し、急性期から地域支援まで広がる精神科OTの役割と、今後の働き方の可能性を語り合います。

学会参加登録のご案内

- 第27回千葉県作業療法士学会のホームページや抄録集に、学会参加事前登録の案内を掲載しております。
- 今回もPeatixでの参加費支払いが可能ですので、是非ご利用ください。なお事前登録は2026年2月14日（土）となっております。
- 当日の参加受付も行いますが、参加費の金額が変更となります。また**支払いはPeatixのみとなります。**現金払いは対応がありませんのでご注意ください。

※ 当日の参加受付をご希望の方は、円滑に受付作業が進められるようにPeatixの事前準備をお願いいたします。詳しくは第27回千葉県作業療法士学会のホームページや抄録集をご参照ください。

託児室のご案内



今回も託児室を設置いたします。

お子様を受け入れるお部屋の大きさから、受け入れ人数は**最大で10名**までとさせていただきます。託児をご希望の方は、託児室利用規定をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。詳しくは第27回千葉県作業療法士学会のホームページや抄録集をご参照ください。

ブース・ワークショップ・オンデマンド配信等の出展



前回の学会でご好評いただいていたキッチンカーですが、今回の学会でも出店予定となっています。
学会の合間や休憩時に、ぜひご利用ください。
どんなキッチンカーが来るのか？
詳細につきましては、今後ホームページ等でご案内いたします。



東葛南部ブロック主催「新春！東葛南部ブロック作業療法フェスティバル！」のご案内

- 【日時】令和8年1月18日（日）13:00～16:00（開場12:45／最終16:30）
【会場】八千代リハビリテーション学院
【参加費】無料
【対象】どなたでも参加可能

千葉県作業療法士会 東葛南部ブロックでは、第27回千葉県作業療法士学会のプレ企画として、交流と体験を楽しみながら学べるフェスティバルを開催します。運動器、認知症、生活期の運転支援、就労支援などをテーマにしたミニ講座と、QOL評価、介助方法の伝え方、学会スライド作成サポート、作業療法面接などの体験コーナーを通して、日々の実践に役立つヒントや仲間とのつながりを得られる企画です。

学会参加予定の方ももちろん、参加を迷っている方やOTに関心のある方も、ぜひこの機会にご参加ください。

QRコードまたはフォーム（<https://forms.gle/D4PXqX7HT7VLshPU8>）よりお願いします（申込締切：令和8年1月11日（日））。

新春！
作業療法フェスティバル
1.18
開場：12:45 終了：16:30
参加費：無料 対象：どなたでも大歓迎！
会場：八千代リハビリテーション学院
※公共交通機関をご利用しご参加ください

ミニ講座	タイムテーブル	体験コーナー
【12:45～13:00】 運動器作業療法を現場と繋ぐ ～からだの動きから考える～ （佐藤 浩一） 認知症の人への支援 ～現場から～ （佐藤 浩一） 交流スペース	12:45 (OPEN) 13:00 13:40 14:30 15:20 16:30 (Close)	ゲームをしながら学ぶ 教養スライドの相談もできます！ 【13:40～14:30】 介護保険制度のQOL評価 ～現場から～ 介助方法の伝え方 ～現場から～ 交流スペース 【15:20～16:00】 学会スライド作成サポート ～現場から～ 作業療法面接とそのツール ～現場から～

つながる・学ぶ・体験する！
※本フェスティバルは、どなたでも参加いただけます。
お気軽にご参加ください。会場内には、お茶をいただけるコーナーも設置しています。
※本フェスティバルは、東葛南部ブロック主催です。





事務局・財務部より

令和7年度臨時総会（令和8年度予算総会）の開催について

令和7年度臨時総会が以下の通りに開催されます。議決権を持つのは代議員のみですが、会員ならどなたでも聴講可能です。詳細は、ホームページでお知らせする予定です。

日時
令和7年3月20日（金・祝）
9：45 受付開始
10：00～11：30 予算総会

場所
千葉県立保健医療大学
幕張キャンパス
千葉市美浜区若葉2-10-1

財務部より大切なお知らせです！！

■今年度（R7年度）内に当士会を退会される方へ

事務局へ、令和8年3月15日までに「退会届」を出して下さい。手続きをされない場合、来年度（令和8年度）に年会費が自動引き落としされます。退会される方は、できるだけお早めに手続きをして下さい。

■会費を直接入金されている方で、自動引き落とし手続き未実施の方へ

千葉県作業療法士会の会員は、原則「会費自動引き落とし」です。手続きをされていない会員は、事務局まで御一報下さい

※会費の払い込みについて、何かご不明な点がございましたら、下記事務局にお問い合わせください。1年間、会費が未納になりますと会員資格喪失となります。ご注意ください。

■事務局

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野4-21-1スカイビルおゆみ野2F
メールアドレス：chiba_ot@yahoo.co.jp



令和7年度 千葉県生活期リハビリテーション研修会開催のお知らせ
(千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会)

千葉県リハビリテーション専門職協会

〈開催のご案内〉

今年度の研修テーマは「ともに築く生活期リハの現場力～急変・倫理・連携を学ぶ～」です。
在宅でのリハビリテーションは、利用者の暮らしを支える最前線です。
急な体調変化への迅速な対応、生活背景に根ざした倫理的判断、利用者・家族・セラピストの三方が納得できる目標設定、そして子どもへの支援と関係施設や学校との連携など、多様で高度な対応力が求められます。本研修では、現場で活かせる知識と視点を実践的に学ぶことができます。
訪問リハビリテーション、こどものリハビリテーションの経験の有無は問いません。
在宅利用者のよりよい明日を一緒につくりたいと考える皆様のご参加をお待ちしております。

研修テーマ:「ともに築く生活期リハの現場力～急変・倫理・連携を学ぶ～」

- 「在宅で遭遇する急変時の対応」
- 「在宅におけるリハビリテーションの倫理的問題とは？」
- 「在宅における目標設定の考え方」
- 「こどものリハビリテーション <<関連施設や学校との連携>>」

記

日 時：令和8年2月15日(日) 9時30分～15時30分(予定)

開催形式：Zoomミーティングによるオンライン研修(参加者各自のネットワーク環境が必要です)
受講対象：千葉県理学療法士会員、千葉県作業療法士会員、千葉県言語聴覚士会員
定 員：60名
プログラム：別紙参照
会 費：無料
申込URL：https://forms.gle/8XMckSoiovGmiBMY9
申込締切：令和8年2月10日(火)



時 刻	時間数	講義内容	概要	役 割	所 属	職種など	講 師 (敬称略)
9:15		受付開始(早めの入室をお願い致します。)					
9:30		開講式					
9:40		在宅で遭遇する急変時の対応	セラピストが知っておくべき医療的対応 (講演50分+質疑応答10分)	千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
	60			研修会実行委員会			
10:40				座長	つばさ在宅クリニック	医師	澤田 雅志
				講師			
		休憩(10分)					
10:50		在宅におけるリハビリテーションの倫理的問題とは？	在宅でハビリサービスを提供する上での 倫理的な問題とその解決策について (講演50分+質疑応答10分)	千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
	60			研修会実行委員会			
11:50				座長	国際医療福祉大学	医師	荻野 美恵子
				講師			
		昼休憩(60分)					
12:50		在宅における目標設定の考え方	「目標設定」に関する知識、実践方法について (講演50分+質疑応答10分)	千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
	60			研修会実行委員会			
13:50				座長	船橋市リハビリセンター	作業療法士	尾下 真志
				講師			
		休憩(10分)					
14:00		こどものリハビリテーション <<関連施設や学校との連携>>	病院などの関連施設や特別支援学校との連携の 実際、ポイントについて (講演25分+質疑応答15分)	千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
	90			千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
15:30				座長	千葉県千葉リハビリテーションセンター	理学療法士	小川 智美
				講師		作業療法士	吉田 尚樹
						言語聴覚士	須田 真紀
		休憩(5分)					
15:35	5	開会挨拶					
15:40	5	アンケート					

※講師については、変更になる場合がございます。詳細は各県士会ホームページにてご確認ください。

Activity Report

#1.千葉中央ブロック・老年期障害委員会

ちば市民健康づくり大会 2025参加報告

2025年10月18日、千葉市の複合施設「Qiball（きぼーる）」にて開催された**ちば市民健康づくり大会**に、千葉中央ブロック、運転支援検討委員会、老年期障害員会で千葉県作業療法士会として参加しました。

県民の皆さまに「作業療法」をより身近に感じていただくことを目的に、**体験型ブース**を中心とした展示・交流を行いました。

■ 来場者に訊いてみました！“あなたにとっての大事な作業”とは？

作業療法で焦点を当てる「作業」について説明した上で、「あなたにとっての大事な作業は何ですか？」ということをやがいました。その作業を、1人ずつ葉の形をした付箋に書いて、千葉市の区に分けた【みんなの大切な作業の樹】に貼っていただきました。「家族との食事」「趣味の園芸」「友人とのおしゃべり」「地域活動」など、2歳から90歳代の方々まで、本当に沢山の大切な“作業”が集まり、色とりどりの葉を付けて、最後には彩り豊かな作業の樹が完成しました。

作業療法士が大切にする“その人らしい生活”の意味を、来場者とともに考える機会となりました。



■ MoCA-J(モントリオール認知評価 日本語版)による軽度認知機能障害スクリーニング体験

注意・記憶・実行機能などを確認できる簡易テストを体験していただきました。「自分の今の脳の健康を知るきっかけになった」「認知症予防について考える良い機会になった」などの声を多くいただきました。

作業療法士が認知機能の早期発見・予防支援に関わる専門職であることを、県民の皆さまに広く知っていただくことができました。



■ 健康運転相談

運転に必要な注意機能などの運転関連機能評価を行い、実際の運転場面で起こりうるリスクや回避方法、留意点等についてアドバイスをしました。

Activity Report

■ “できる”を実感する展示・体験コーナー

作業療法士の支援技術を体感できる体験を実施しました。

能動義手を用いた「つかみ体験」

義手の構造や仕組みを知り、実際に操作することで、手のリハビリテーションや福祉機器の可能性に触れていただきました。

子どもから高齢者まで幅広い世代が興味を持ち、未来の医療技術に目を輝かせていました。

高次脳機能バランサー体験

注意力・記憶・反応などをゲーム感覚で楽しみながら測定し、結果に合わせて、脳機能と強い方の手元や気持ちが落ち着く効果があるといわれているTwiddle Muffを実際に手に取っていただきました。「さっそく試してみたい利用者さんの顔が浮かんでいます」「今日一番の収穫でした」との感想もいただきました。

具体的な生活の結びつきを学んでいただきました。

「難しかったけど面白い」「もう一度挑戦したい!」と、笑顔があふれていました。

利き手交換

自助具を用いて、段階的な利き手交換を体験していただきました。「便利なものがあるのね」「知っているといざという時に困らないわね」と熱心にご覧になる方が多くいらっしゃいました。

Twiddle Muff体験

認知症や不安が強い方の手元や気持ちが落ち着く効果があるといわれているTwiddle Muffを実際に手に取っていただきました。「さっそく試してみたい利用者さんの顔が浮かんでいます」「今日一番の収穫でした」との感想もいただきました。



■ 地域に根ざした健康づくりへ

今回の出展を通して、改めて「健康づくりは、日常生活の中の“作業”から始まる」ことを実感しました。

作業療法士は、病院や施設にとどまらず、地域のあらゆる場面で「その人らしく生きる力」を支えることができます。

今後も、地域住民との交流や体験を通じて、作業療法を知っていただき、心身の健康を支える活動を続けてまいります。

Activity Report

#2.災害対策委員会

災害対策委員会では、9月から11月にかけて様々な災害対応訓練に参加しました。

2025年度安否確認訓練

日本作業療法士協会主催の災害対応訓練にご協力いただき、ありがとうございました。千葉県作業療法士会では、9月25日より1ヶ月間にわたり、平時より活用しているマメール等を通じて、県士会員やブロック長、理事の皆さまに安否確認訓練にご参加いただきました。今年度の実施結果を報告いたします。

対象者：525名
(9月25日時点のマメール登録者)

回答状況	回答者数
72時間経過時点	149名
1ヶ月経過時点	204名

災害対策委員会では、災害発生時にマメールを活用して、安否確認や各種情報発信を行います。近年、全国各地で災害が頻発しており、平時から災害への備えがますます重要となっています。この安否確認訓練は、今後も毎年9月25日（作業療法の日）に実施する予定です。まだマメールに加入されていない方も、マメールに登録いただき、来年の訓練にぜひご参加下さい。

九都県市合同防災訓練

2025年10月19日に館山市で開催された、第45回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）に災害対策委員3名が参加して参りました。千葉県作業療法士会は千葉 JRATの構成団体として、この訓練に災害対策委員を毎年派遣しています。

今年度は海上自衛隊 館山航空基などを会場として、救出救助や応急救護といった実動訓練や避難所運営訓練、防災フェアなどが行われました。

避難所運営訓練では、DMATやDWATといった災害支援チームや関係団体と連携し、避難所の設営や避難所のアセスメント、避難所の寝具寝比べ体験などを行いました。

防災フェスタにおいては、千葉JRATとしてブースを出展しました。千葉JRATの団体紹介や、災害リハビリテーションの紹介、災害リハクイズなどをパネル展示したほか、自助具の体験や嚥下食の展示など、災害時にも活用できる物品の紹介を行いました。この防災フェスタでは、警察や自衛隊、大学、一般企業など多くの団体がブースを出展し、防災や災害支援に関する様々な取り組みについて知る機会となりました。

防災フェア



ブースの様子



自助具体験 (OT)



嚥下食、Eバーサルフード展示 (ST)



嚥下食、Eバーサルフード展示



知事視察

Activity Report

避難所運営訓練



毛布、エアベッド寝比べ体験



高齢者体験スーツでの体験



支援チームミーティング



避難所運営委員会での避難所レイアウト検討



避難所に設営されたテント



車椅子の使用方法アドバイス

船橋市総合防災訓練参加報告

11月30日（日）、船橋市立飯山満南小学校で実施された「船橋市総合防災訓練」に委員2名が参加しました。訓練では、避難所のレイアウト作成をはじめ、要配慮者受入訓練や避難所受付体験など、実践的なプログラムが数多く組まれていました。

車いすでの移動やトイレの利用、段ボールベッドへの移乗などを要配慮者の視点に立ちながら体験したことで、いくつかの課題が見えてきました。特に、避難所内の動線確保や介助が必要な方への支援方法などは、今後も継続して検討すべき重要なテーマであると実感しました。実際に「見て・触れて・体験する」ことの重要性を再認識するとともに、より安心して利用できる避難所づくりに向けて、今後も検討と改善を重ねていく必要性を感じました。



Activity Report

#3.司法作業療法特設委員会

千葉刑務所参観

司法作業療法特設委員会では、10月30日に千葉刑務所の参観に委員6名が参加しました。千葉刑務所は、犯罪傾向の進んでいない刑期10年以上の成人男性受刑者を収容しています。殺人や傷害といった生命犯が約75%で、年齢は60歳台と70歳台を合わせて35%を占め、無期刑の受刑者も収容しており齢化が進んでいます。社会復帰が近い受刑者は少ないのが現状ですが、拘禁刑の施行に伴い、個々の受刑者の特性に応じたきめ細やかな処遇の実現に向けて改善更生、社会復帰のための働きかけを実施されています。現在千葉刑務所では作業療法士をはじめ、他リハビリ職の関与はありません。委員会で関与している市原青年矯正センターとは異なる点としましては高齢受刑者に対する身体的アプローチがあります。出所のための社会復帰支援についても作業療法士の専門性を活用していただく価値はあると感じます。作業療法士関与の効果を発揮できるよう、また引き続き活動の幅を広げることができるよう今後も活動を継続していきます。



「市原青年矯正センター施設見学会」活動報告

11月25日(火)に市原青年矯正センター施設見学会を開催いたしました。平日にも関わらず13名の県士会員の皆さまにご参加いただき感謝申し上げます。当日は、施設の概況説明、施設見学、質疑応答と盛りだくさんの内容でセンターの職員皆さまより丁寧にご説明いただきました。参加者の皆さまからは「司法領域における作業療法士の役割を学ぶ事ができ、新たな視野が広がったと感じた」「司法の在り方が大きく転換する過渡期にあって、意欲的な取り組みをされている様子を拝見大変感銘を受けた」「こうした取り組みが、もっと士会員に周知され関心が高まることを望みます」「いろいろと課題があることも知れましたが、市原の取り組みが広まっていくことを応援したいと思った」等のご感想をいただき、県士会員の皆さまにセンターでの取り組みや矯正施設の現状について理解を深める機会となりました。来年度以降も定期定開催ができれば考えております。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

Activity Report

#4.東葛南部ブロック

ふなばし健康まつり 活動報告

東葛南部ブロックとして令和7年11月2日に行われたふなばし健康まつりに参加しました。当日の催し物は、自助具の展示・体験、義手体験、ドライビングストレッチ、自動車運転に関する相談を行いました。催し物は10時から15時まで行われ、大人82名、子供86名、合計168名の方々にご参加いただきました。

自助具体験ではお子様や高校生、ご年配の方など幅広い世代の方に自助具を体験していただきました。道具を工夫することで日常生活が楽になり、継続的にできることを伝えることができました。自動車運転相談では、運転行動チェックリスト、認知機能検査を実施しました。運転行動チェックリストや認知機能検査を行うことで日々の運転における注意機能の維持・向上の重要性やストレッチを行い体の準備をしっかりと行う必要性について参加者と一緒に確認する機会を提供することができました。また、自動車運転相談のみならず自転車に乗って過ごされる方に対しても運転行動チェックリストを実施し、注意機能の重要性を感じていただく機会となりました。義手体験では、若い方や大人の方を中心に体験されました。義手操作の難しさを肌で感じていただける機会となりました。

体験コーナー以外には、日常生活において不便を感じることにについて相談いただいた方に対して展示以外の福祉用具について案内を行いました。また、幼稚園での生活において不安なことや集団生活においてなじめない幼児の相談が聞かれるなど、小児・幼児に関する相談なども多数聞かれました。臨床とは異なり、一般市民と関わることで作業療法士として、より広い視野や知識が必要であることを痛感しました。今後も地域活動を積極的に実施し、作業療法士を認知してもらおうとともに、「何か日常生活で困ったら作業療法士」と一般市民に思ってもらえるような存在になりたいと感じました。





理事会報告

2025度 第6回 理事会

2025年9月17日（水） 19:00～21:52 千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾、兼子、今野、五味、有川、勝俣、金平、小池、古城、坂田、佐々木海、須藤、関、多田、土居、露崎、野口、袴田、横山、計19名

【検討事項】

- 1 昭和上條医療奨励賞、第12回昭和上條医療賞について ⇒ 該当者なし。
- 2 役員選挙に向けた時期・体制の確認について ⇒ 理事定数20名、代議員定数43名である。
- 3 組織図の改正や担当理事の配置について ⇒ 総会に向けて12月の理事会から改正案などを検討していく。
- 4 その他 ⇒ 小児OT派遣事業について：こども連携委員会で具体的作業を進めていく。

【報告事項】

- 1 式典出席（千葉県介護支援専門員協議会、歯科衛生士会）について
 - 歯科衛生士会は松尾会長が出席し、千葉県介護支援専門員協議会には兼子副会長出席予定。
- 2 第2回よんばちへの出席者（10/25-26）について
 - 松尾会長、露崎理事は対面参加、今野副会長、有川事務局長、坂田監事オンライン参加予定。
 - 五味副会長は26日のみ参加予定。
- 3 3. 5歳児検診への作業療法士参画に関する意見交換会について
 - 大分と茨城からの実践報告の後、グループワークが行われた。
 - 発達障害委員会、こども連携委員会が具体的な検討をしていく。
- 4 各部署の活動報告について
 - ① 司法作業療法特設委員会⇒11/25 14:00～ 10名程度 市原青年矯正センターの見学会を予定。
 - ② 福祉用具対策委員会⇒①OT協会生活行為工夫事業東部ブロックのアンケート対応。
 1. 国際福祉機器展への委員派遣。
 - ・ 災害対策委員会：①9/25 シミュレーション訓練実施予定。被害状況、安否確認などを報告。
 - ③ PT・ST士会と合同の研修会を予定。
 1. 10/19 合同防災訓練（館山）への協力依頼あり、委員を派遣予定。
 - 早朝からのため前泊検討。
 - ④ 臨床実習指導者講習会委員会：第2回実習指導者講習会（9/20募集締切）は対面開催を予定。
 - 修了者も増えてきているので、今後はフォローアップに力を入れていく。
 - ⑤ 学会委員会：第27回千葉県作業療法士学会の企画
 - 基調講演（坂田監事）、オンデマンド講演（6演題）、一般演題（9/27締切）
 - ⑥ 福利厚生部：9/7 懇親会実施。参加者5名、充実した時間を過ごすことができた。
- 5 その他
 - ① 露崎理事；LINEワークスについて事務局に使用方法を伝達し、機能を活用していく予定。
- 6 【確認事項】
- 7 千葉県リハ専門職協会の総会（9/23）出席への返信状況
- 8 「千葉作業療法」 国立国会図書館登録、著作権の複製利用許諾について ⇒ 編集委員会で検討
- 9 協会や外部団体からの業務や会議出席への依頼、県士会への問合せ対応について
 - 10/24医療観察制度施行20周年記念シンポジウム（9/30締切）
4. その他 ⇒ 所在不明会員について継続して対応する。



理事会報告

2025度 第7回 理事会

2025年10月22日（水） 19:00～21:53 千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾、兼子、今野、五味、有川、勝俣、金平、小池、古城、坂田、佐々木海、
佐々木啓、須藤、関、多田、土居、露崎、袴田、横山 計19名

【検討事項】

- 1.臨時予算総会の開催日程について：2026年3月20日（祝・金）10:00～予定。
- 2.学会や研修会における託児所について：子育て中の会員が安心して研修会・学会へ参加できるようマニュアルを改訂。
- 3.作業療法士人材確保について：養成校向け文書を作成する。
- 4.千葉県リハ専協会の挨拶状送付先候補について：送り先について各県士会から意見を集約する。
- 5.県士会活動時の企業展示での留意点について
 - 君津・市原エリアで情報交換会を開催。運転シミュレーター企業（賛助会員）と教習所（非賛助）2社に依頼済。賛助会員の優先は原則でなく、公平性・利益相反に配慮。実車教習は複数事業所に声掛けし選定過程を明文化。展示は体験・情報提供が目的で販売促進ではない旨を明示。

- 6.役員選挙に向けた次期体制の確認について【継続審議】
- 7.組織図の改正・担当理事の配置について組織再編の方向性（審議中）【継続審議】
- 8.その他

財務：広告収入は会員限定閲覧により非課税扱、一般公開時は課税対象となる。次期財務に対応を要請。

【報告事項】

- 1.千葉県介護支援専門員協議会 一般社団法人設立式典参加報告について：9/27（土）県PT・ST会長と共に兼子副会長が出席。11/30（日）研修会の案内を配布。
 - 2.賛助会員の再入会申し込みについて：メール審議にて承認。振込依頼を送付。
 - 3.各部局委員会報告について
 - 災害対策委員会
 - ① 9/25 安否確認訓練（途中経過）：まめーる回答率43％・開封率30％、Googleフォーム28％。未開封・所属不明多い。
 - ② 10/19 9都県市合同防災訓練（館山市）：3名派遣、支援対応・自助具展示等実施（約110名参加）。
 - 地域共生社会推進委員会：まめーるは11月支払い後、12月より広報委員会へ移管。来年度は契約料を広報予算に計上。権限者は露崎理事。
 - 東総ブロック：12/5に市町村配置事業に向け行政と担当者の意見交換会を実施。案内状は会長・ブロック委員長名で送付予定。
 - 学会委員会
 - ① 学会ポスターは発送済、演題は39題で査読完了。託児あり。参加費は事前：Peatix・振込、当日：Peatixのみ。広報は早期実施予定。委員会で体制検討中。再来年度9月開催を軸に調整中。神奈川県士会より南関東合同学会（4年に一度案）の相談あり。
 - 5.その他
- 11/4親睦ゴルフ、12/13バスケット開催、2/7こども連携交流会＋懇親会企画（講師・集客検討中）、2/8発達障害オンライン研修会（加藤寿宏先生）開催予定、1/10関東子ども委員会交流会（群馬）参加予定（旅費補正を理事会へ）、運転支援相談窓口の利用低調（会員向け周知強化へ）、9/20倫理情報交換会に参加（今後研修会等を検討）、10/8-10福祉用具対応（OT協会依頼）4名派遣（来年度も継続予定）、10/18千葉市民健康大会に参加（来場180名・体験120名、来年度は幕張イオン予定）、11/2船橋健康まつりにブース出展（運転支援と合同）、認知症実践者研修会に多職種20名参加（委員1名追加予定）

【確認事項】

- 1.基礎コースポイント対象の参加条件について
研修費無料でも、規程（90分以上等）と名簿登録・参加証があればポイント付与可。SIGは参加証必須。千葉県リハ専協会の公印確認と名称変更届を提出予定。
- 2.「千葉作業療法」国立国会図書館登録、著作権の複製利用許諾について
学術編集集経由で受権確認中。著作料は無料想定、最終判断と回答は事務局代行可。
- 3.県士会への問い合わせ対応について
退会届提出あり、定款第7条により会員資格なしと判断。第15・17条に基づき対応をメールで通知。

研修会情報

詳細については千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください。

OTっておもしろい！研究×教育×臨床のクロストーク

<講師>

西方浩一氏（文京学院大学教授）× 中村拓人氏（神奈川県立保健福祉大学助教）

<日時> 2026年2月7日（土）

第1部 15:00～17:30

第2部 18:00～

<会場>

第1部 千葉県立保健医療大学幕張キャンパス(無料)

第2部 大学周辺の飲食店（実費）

<内容>

■第1部 講師によるトークセッションです。参加者の疑問や質問も交えてながら進行します。
（ハイブリット形式）

■第2部 小児に関わるOT同士、情報共有や悩み相談等をしながら過ごしましょう！
（対面形式）

<お申し込み期限>

令和8年1月23日迄

<申し込み>

<https://forms.gle/EBLa4sC8hmCSF8ha6>

<お問い合わせ>

chiba.kodomo.link@gmail.com

令和7年度学術部発達障害委員会研修会『人間発達学を臨床に活かそう！』

研修期日：2026年2月8日（日曜日）9時30分～12時30分

※質疑などの一部を除きアーカイブ配信も予定しています。

場所：オンライン（Zoom）

研修会内容：本研修では、養成教育でも必須とされる『人間発達学』の中から、特に“運動発達”に焦点を当て、加藤寿宏先生にご講義いただきます。発達領域の現場で、運動発達の知識を評価や支援・治療にどのように活かすのか、そのための視点や考え方を、実践に結びつけながら、マイルストーンの繋がりを意識して学びます。

講師 加藤寿宏先生 関西医科大学リハビリテーション学部

定員 オンライン受講50名（アーカイブは定員なし）

申し込み方法

Peatix イベントページより申し込みと参加費納入

申し込み締め切り

令和8年1月31日（月曜日）

令和7年度 第7回千葉中央ブロック交流会

主 催 : 千葉中央ブロック
研修期日 : 2026年1月31日(土) 第1部 13:30~16:00/第2部 17:30~19:30
場 所 : 第1部 蘇我コミュニティセンター/第2部 千葉駅周辺の飲食店
研修会内容: 第1部では、ユニバーサルホスピスマインドについて学ぼう! ~苦しんでいる人から見て「わかってくれる人」になるために~ をテーマに、講師の 岡野朋子 氏と一緒に学んでいきます。第2部では、繋がりを深める時間として懇親会を開催します。※第2部は学生の参加は不可
参加費 : 無料 ※第2部は各自ご負担となります。
申込方法 : 以下のGoogleフォームより回答(締切: 2026年1月23日(金))
<https://forms.gle/ZUc23DPQQSebzZHJ9>



詳細は後日、千葉県作業療法士会ホームページ等でご案内いたします。

三士会共催 災害リハビリテーション研修会

- 研修会名: 三士会共催 災害リハビリテーション研修会
- テーマ: 避難所運営ゲーム(要配慮者バージョン)を体験してみよう!
- 日 時: 2026年2月15日(日)10:00~12:00(受付開始9:30~)
- 場 所: 千葉県立保健医療大学 幕張キャンパスB棟111
- 対 象: 千葉県理学療法士会会員
千葉県作業療法士会会員
千葉県言語聴覚士会会員
養成校学生
- 定 員: 30名
- 参 加 費: 無料
- 申込みフォームURL: <https://forms.gle/JBf6fFbjdJFU2Tgf6>



研修会情報

詳細については千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください。

令和7年度 福祉用具対策研修会

【令和7年度福祉用具研修会のご案内】

テーマ：コミュニケーション機器を知ってたくさんの人にコミュニケーションを広げよう！
～スイッチや視線で入力するICT機器～

開催日時：令和8年1月25日（日）9時30分～13時（9時受付開始）

開催場所：八千代リハビリテーション学院 A棟 3F 大教室

八千代市八千代台11-1-30

対象：作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・その他医療従事者・リハビリ職学生

講師：NPO法人 ICT救助隊 <https://www.rescue-ict.com/>

千葉県福祉用具対策委員会

参加費：無料 定員：30名程度

申し込みフォーム：https://docs.google.com/forms/d/16VY-qJ74vGH5egCNHDJPux_EyC4Ci5m_WpK75yNMvig/edit

申し込み締め切り：令和8年1月18日（日）

お問い合わせ先：sogoreha.kikuchi.ryuichiro@gmail.com。



M@mail（まめーる）登録のご案内

メール配信サービスである M@mail は災害時の連絡手段、情報収集が主目的ですが、研修会情報や理事会議事要旨など会員の皆様に向けた情報提供も積極的に行っています！！

現在 340 名程の方に登録いただいています。

まだ登録がお済みでない方は、QR または、こちらのアドレスに空メールを送ることで登録できます！ぜひともご登録ください！！

caot_iha0006@mamail.jp



LINE 公式アカウントについて

月2回を目安に研修会情報などを配信していきます。

現在 280 名の方に登録頂いています。皆様のご登録お待ちしております！！

友達追加の方法

友達の追加→QR コード

→右の QR コードを読み取る



友達の追加→ID 検索から以下の ID を入力

@442xxhdx